

学校教育目標	「かがやき ひびきあう 六つ西の子」 ○主体的に考え、対話的な学びを通して学び続ける力を育てます。(知) ○自分や周りの人への理解を深め、互いをかけがえのない存在として大切に作る心を育てます。(徳) ○望ましい生活習慣や楽しく運動する習慣を身に付け、心身ともに健康に生きる力を育てます。(体) ○学校や地域の中で、自分の役割と責任を自覚し、他者と協働する力を育てます。(公) ○自他の違いを受け止めながら、様々な人と進んで関わり、共に生きていく力を育てます。(開)			
	創立 45 周年 児童生徒数: 343 人	学校長 稲葉 靖 主な関係校: 六つ川中学校、六つ川小学校、六つ川台小学校、別所小学校、横浜南養護学校、横浜国際高校	副校長 長谷川 裕志	2 学期制 一般学級: 12 個別支援学級: 3

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	六つ川中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組												
<table border="1"> <tr> <td>六つ川中学校ブロックで 育成を目指す資質・能力 自立のための基礎力</td> <td> かがやき 創造する力 計画力 思考力 判断力 やりとげる力 主体性 実行力 </td> <td> ひびきあう 発信力・傾聴力 規律性 協働性 </td> </tr> <tr> <td>高学年</td> <td>学校の代表としての自覚をもった行動をしたり、夢や目標をもち生き方を追求したりする力</td> <td>よりよい学校を創り上げるために、地域等社会とのつながりを大切に、協働的に解決する力</td> </tr> <tr> <td>中学年</td> <td>物事の過程を大切に、やりとげようとする力</td> <td>他者と考えを尊重し合い、思いや考えを伝え合う力</td> </tr> <tr> <td>低学年</td> <td>自分に自信をもち、自分らしさを発揮しようとする力</td> <td>身近な事象に積極的ににかかわろうとする力</td> </tr> </table>	六つ川中学校ブロックで 育成を目指す資質・能力 自立のための基礎力	かがやき 創造する力 計画力 思考力 判断力 やりとげる力 主体性 実行力	ひびきあう 発信力・傾聴力 規律性 協働性	高学年	学校の代表としての自覚をもった行動をしたり、夢や目標をもち生き方を追求したりする力	よりよい学校を創り上げるために、地域等社会とのつながりを大切に、協働的に解決する力	中学年	物事の過程を大切に、やりとげようとする力	他者と考えを尊重し合い、思いや考えを伝え合う力	低学年	自分に自信をもち、自分らしさを発揮しようとする力	身近な事象に積極的ににかかわろうとする力	六つ川中学校 六つ川小学校 六つ川台小学校 六つ川西小学校	「自立のための基礎力」の育成 令和元(平成31)年度より、新指導要領の実施に伴い、自立のための基礎力を8つの要素にまとめました。小中学校の発達段階に応じて段階的な目標を設定し、すべての教育活動において継続的に取り組みます。 ・小中一貫ブロック運営協議会における3つの推進部会の組織的推進 ・自立のための基礎力を視点においた協議 ・小中で協議した内容の具現化
六つ川中学校ブロックで 育成を目指す資質・能力 自立のための基礎力	かがやき 創造する力 計画力 思考力 判断力 やりとげる力 主体性 実行力	ひびきあう 発信力・傾聴力 規律性 協働性												
高学年	学校の代表としての自覚をもった行動をしたり、夢や目標をもち生き方を追求したりする力	よりよい学校を創り上げるために、地域等社会とのつながりを大切に、協働的に解決する力												
中学年	物事の過程を大切に、やりとげようとする力	他者と考えを尊重し合い、思いや考えを伝え合う力												
低学年	自分に自信をもち、自分らしさを発揮しようとする力	身近な事象に積極的ににかかわろうとする力												

中期取組目標	○学校教育目標「かがやき ひびきあう 六つ西の子」の具現化を目指し、子ども一人一人を大切にする教育を実践します。 ・低学年では、自分に自信をもち、自分らしさを発揮しようとして身近な「ひと・もの・こと」に積極的ににかかわったりしようとする力を育てます。 ・中学年では、物事の過程を大切にしたり遂げようとして他者と考えを尊重し合い思いや考えを伝え合ったりする力を育てます。 ・高学年では、夢や目標をもち生き方を追求したり地域等社会とのつながりを大切に協働的に解決したりしようとする力を育てます。 ・教職員だけでなく、家庭、地域との連携も密にし、「オール六つ西」で子どもたちを育てます。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
知 学びの質の向上 担当 教育活動推進	①重点研究を通して、「かがやき(必要感・達成感)」「ひびきあう(相手意識・目的意識)」子どもの姿を引き出せるような授業づくりをしていく。②スキルタイムの充実を図るために、学年内での内容の統一、効果的なルーティーンづくり、タブレットを使ったドリル学習などに取り組む。③授業力をつけるための取組を進めると同時に、チャレンジルームでの学習を充実させる。
徳 豊かな心 担当 児童・生徒指導	①「きらきら集会活動」を中心として、異学年同士のつながりや相互理解を深める。②道徳の時間の充実、人権週間の取組を通して、自分も相手も大切にできる子を育てる。③読書活動や様々な芸術に触れる機会を充実させ、見方や考え方を広げることで児童一人ひとりの感性を育てる。
体 健やかな体 担当 体育部	①体力アップを通して、継続的に運動に親しむとともに、自分に自信をもてるようにする。②主体的に体育科学習に取り組む子どもを育てるため、学習資料を活用したり、教員の研修を通して授業力を高めたりする。③委員会活動などの取組で感染症対策を講じた学校生活の充実について、子ども自身が主体的に模索できるようにする。
公開 地域連携・地域学校協働活動本部 担当 地域連携	①「六つ西かがやき☆レンジャーズ」の名称や活動などについて子どもや保護者、地域に広報することでボランティアを増やし、保護者や地域と連携・協働していく。②生活科・総合的な学習の時間を中心にして、地域とのつながりを大切にして学習することで、地域よさに気付いたり地域の一員としての自覚を高めたりする。
いじめへの対応 担当 児童支援専任	①いじめ防止研修や児童向けアンケートを実施して、いじめの未然防止に努めるとともに、子どもの困り感に寄り添う。②専任を中心としたいじめ対策委員会と定期的ないじめ防止対策委員会を実施し、いじめの未然防止と再発防止を組織的に行う。
人材育成・組織運営(働き方) 担当 教務主任	①メンター研修や職員研修の年間計画を学校運営、授業づくり、指導指導の観点を中心に綿密に立て、教職員としての自覚や資質をより高められるようにする。②「オール六つ西」を合言葉に、若手の教職員が持ち味を生かして教育活動に関わっていくことができるよう、共通認識をもちながら積極的に関わっていくことを大事にしていく。③会議にかかる時間を設定したり、資料を事前準備したりするなどして、会議がスムーズに進められるように工夫する。短時間で中身のある会議を目指していく。
特別支援教育 担当 特別支援	①特別支援コーディネーターを中心としてチャレンジルーム(特別支援教室)を設置し、児童の実態に応じて学習支援を行う。②かがやきにおいて少人数によるきめ細かい指導と支援を行い、交流活動に継続的に取り組む。③児童一人ひとりに対して児童支援専任教諭を中心に、保護者、SCやSSWなどとの連携による切れ目のない支援を行う。
児童指導 担当 児童支援専任	①「あせかけ運動」を継続します。あいさつ・清掃・感謝・けじめを学校生活の様々な機会をとらえて指導する。②不登校児童や問題行動の見られる児童への対応について、学年を中心に児童支援専任教諭とともに共通理解を図り、養護教諭やSCと連携して組織的な対応を図る。③「学校のきまり」を児童・保護者・教職員が共通理解し、安全で落ち着いた学校生活をつくる。
幼保小連携 担当 1年生担任	①保育園、幼稚園と連携を密にとり、幼保小連携の活動や新1年生の引継ぎを細かく行いながら、交流授業を行う。②引き続き、スタートアップカリキュラムを充実させ、小学校生活への基礎力を身につけ、小学校生活に適用できるようにする。③幼稚園、保育園に小学校から提案した活動を取り入れてもらい、小学校での学習や生活に期待をもち、児童が違いを受け入れていきやすいような環境づくりをしていく。
担当	b10